

薬剤部

【薬剤師外来】

2024年度診療報酬改定で「がん薬物療法体制充実加算」が新設されました。医師の診療前におこなう「薬剤師外来」を評価した加算です。薬剤師が患者の服薬状況や副作用発現状況等について確認し、医師に情報提供や処方に関する提案を行うものです。当院においてもがん薬物治療の更なる向上を目指して薬剤師外来を実施しています。

【長期収載品の選定療養扱い】

10月から、患者が「後発医薬品でなく先発品（長期収載品）を使いたい」と希望した場合には、両者の差額の4分の1を患者自身が負担する仕組み（選定療養）が導入されました。混乱を心配しましたが、これまで大きな問題は生じずに推移しています。

【薬剤管理指導の効率化】

病棟での薬剤管理指導業務の増加に取り組みました。年度当初は200件台/月だったものが、年度後半には400件/月前後の件数まで伸びすことができました。

【医薬品供給の停止・遅延・出荷調整等】

医薬品供給問題は引き続き生じています。各種抗菌薬、ソルダクトン静注用100mg、ソル・コーテフ注射用100mg、献血ウェノグロブリンIH静注製剤等で製品の確保に難渋しました。

【薬学生教育】

今年度は〔Ⅲ期〕8月19日～11月3日に1名(横浜薬科大学)、実習生を受け入れました。

【薬事委員会】

	内服剤	外用剤	注射剤	合計
新規採用薬品	16	3	17	36
仮採用薬品	0	0	0	0
院外採用薬品	2	4	7	13
削除薬品	16	7	21	44
後発医薬品への切り替え	20	4	4	28

無菌製剤処理業務

【外来】 外来腫瘍化学療法診療料1(抗悪性腫瘍剤を投与した場合)(700点/件・月3回まで) ※6月から800点/件に改定

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
104	115	110	108	102	92	121	106	118	109	97	79	1,261

外来腫瘍化学療法診療料1(抗悪性腫瘍剤を投与した場合)(450点/件・4回目以降)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
11	16	12	15	14	14	13	14	16	14	14	11	164

外来化学療法加算1(抗悪性腫瘍剤以外の薬剤を注射した場合)(450点/件)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	4	4	4	3	3	10	8	7	5	5	8	72

無菌製剤処理料1(180点/件)(閉鎖式接続器具使用)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
117	127	122	119	109	93	127	115	122	115	98	87	1,351

【入院】 無菌製剤処理料1(45点/件)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	1	2	2	2	5	4	1	1	18

無菌製剤処理料1(45点/件)(閉鎖式接続器具使用)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27	20	9	17	12	18	23	25	18	20	21	21	231

無菌製剤処理料2(40点/件)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
60	98	41	78	65	55	93	104	85	61	30	129	899

【薬剤管理指導業務】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬剤管理指導料1件数(380点)	140	135	131	140	106	120	184	176	192	175	190	144	1,833
薬剤管理指導料2件数(325点)	123	138	141	155	135	122	171	217	242	230	229	192	2,095
麻薬加算件数(50件)	2	7	9	15	12	9	4	14	11	9	8	12	112
退院指導加算件数(90点)	0	36	39	41	33	37	51	59	71	49	67	56	539

がん患者指導管理業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
がん患者指導管理料3,200点/回)	8	7	4	7	3	10	1	10	4	6	5	11	76
連携介護加算件数(150点/月)	64	69	75	69	62	57	67	62	67	63	63	55	773
がん薬剤法体制充実加算(100点/月)			9	11	12	8	12	14	11	13	9	13	112

【薬剤情報提供料 (10点/件)】

※6月から4点/件に改定

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
634	695	607	655	669	596	647	610	725	669	540	586	7,633

【外来及び入院調剤業務】

月別处方箋枚数

外来 (院内)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,271	1,292	1,150	1,318	1,212	1,138	1,200	1,122	1,293	1,244	951	1,077	14,268	
3,078	3,368	2,824	3,289	3,080	2,969	2,102	3,135	3,501	3,188	2,996	3,286	36,816	

【診療科別処方箋枚数】

	内科	小兒科	外科	脳外科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	精神科	放射線科	歯科	麻酔科	リハビリ	合計	
外来 (院内)	6,374	1,009	456	224	308	90	115	832	926	236	103	165	0	3,413	17	15,663	
外来 (院外)	32,958	2,426	3,004	3,227	3,498	1,151	1,895	4,438	6,832	8,394	6	1,413	0	0	440	0	74,006
入院	17,028	759	2,349	2,335	2,237	28	480	9,791	553	2,096	9	19	0	125	7	0	69,682

【院内医薬品集発行】
紙媒体から電子カルテ上で閲覧できる形式に変更し、薬事委員会毎に更新しています。

【長期実習生の受け入れ】 (11週間)

III期(8月19日～11月3)：1名(横浜薬科大学) 合計1名の学生を受け入れました。

【各種委員会活動】

薬事委員会、衛生委員会、医療安全委員会、化学会議法委員会、感染対策委員会、抗菌薬適正使用支援チーム、接種委員会、システム委員会、診療記録委員会、院内教育委員会、褥瘡委員会、NST委員会、適切なコーディングに関する委員会、広報戦略会議、心臓病教室検討会議、DCT等に参加し活動しました。

【発表】

院外講演	開催日	演者	会場	対象	演題
	2024.4.20	片野 寛子	長岡中央総合病院	日本農村医学会新潟地方会第3回例会	「FLS 薬剤部の取り組みと今後の課題」